

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	産業振興企画事務	コード	11401
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 日岐充利
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政 策	基幹産業の振興	施 策	工業の振興
		予算科目	産業振興企画事務費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	基幹産業である工業（製造業）を軸として、商業、観光、農林業を含めた産業全般の振興を図るとともに、企業誘致に向けた取り組みを行った。			
目的	対象者	市民（企業）		
	意 図	産業全般の振興により、市内経済の活性化を推進する。		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1 岡谷市の産業振興を考える懇談会の開催 岡谷市出身者等であって、首都圏、中京圏で活躍する企業経営者等と情報交換などを行い、産業全般の振興を図るとともに、企業誘致に向けた取り組みを行った。 中京圏： 7月25日 参加者 名 首都圏： 11月 2日 参加者 名</p> <p>2 中小企業都市連絡協議会への参加 全国の中小企業が集積した7都市（岡谷市・川口市・大田区・墨田区・加賀市・東大阪市・尼崎市） 総会： 5月24日～25日 第1回連絡会議： 10月1日～2日 川口サミット： 10月25日～26日 第2回連絡会議： 3月14日～15日</p>				
前年度の課題への対応	岡谷市の産業振興を考える懇談会において、工業活性化計画策定に向け、充実した意見をいただき、岡谷市独自の新計画ができた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位	人
	実績値	64	67	70	
	*指標の説明	懇談会への参加者数（市側含む）			
② 成果指標（指標名）	懇談会への参加者数			単位	人
	目標値	70	64	67	70
	実績値	64	67	70	
	達成度	91.4%	104.7%	104.5%	
	*指標の説明				
	*目標値の設定方法の説明				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,775,983	1,076,761	1,452,907	5,967,000
経常経費	88,095	120,601	132,777	
臨時的経費	1,687,888	956,160	1,320,130	
* 臨時的経費の説明	実施計画に基づく事業のため。（消耗品以外）			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	7,200,000	7,200,000	11,200,000	11,200,000
正規職員の人数(人)	0.90	0.90	1.40	1.40
③ 合計コスト(①+②)	8,975,983	8,276,761	12,652,907	17,167,000
前年度比		92.2%	152.9%	135.7%
財源	8,975,983	8,276,761	12,652,907	17,167,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	113,876	109,263	161,897	
前年度比		95.9%	148.2%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
中小企業都市連絡協 議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	50,000	50,000	50,000	50,000
中小企業都市サミッ ト	件数	1		1	
	金額	274,000		274,000	
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	324,000	50,000	324,000	50,000
	割合	18.24%	4.64%	22.30%	0.84%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	104.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	104.5%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 中小企業都市連絡協議会において、次年度、岡谷市が幹事都市となる。 中小企業の集積地である全6都市の支援課題等を取りまとめ、令和2年度の岡谷サミット開催の準備を進める。	
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 中小企業都市連絡協議会及び中小企業都市サミットのあり方について、全6都市と協議を重ねる。	
改善方法		
改善開始時期	平成31年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---